

ムクドリ・カラス対策

テーマ名 中心市街地でのムクドリ・カラス対策

希望する提案のイメージ 本市に飛来するムクドリ・カラスの生態調査を長期的視点で実施し、その調査研究結果の提供。また、両鳥によるフン害・騒音といった生活環境被害を最小限にするための効果的なソリューションの提供。

提案者側のメリット 中核市の中心駅周辺での実証フィールドを提供。
提案者の社会的認知度の向上。
事業化に至った場合、市としてプレスリリースの他、様々な広報媒体を活用し周知可能。
市として有益性が見込めた場合は、次年度以降予算化を検討。

概要 毎年、市中心部にムクドリ及びカラスが集団で飛来し埒(ねぐら)を形成し、大量のフンによる地面の汚れやにおい、鳴き声による被害に悩まされている。
また、冬場には、渡り鳥のミヤマガラスが市中心部に集団で飛来し埒を形成することによるフン害に悩まされている。
～取り組み～
○ムクドリ対策
6月～9月にかけて中心市街地に集団で飛来するムクドリ対策として、LED照明や拍子木などを使用し、市民生活に影響が少ない場所への誘導を実施。
○カラス対策
大学助教と連携し、駅前に埒を作る大量のカラスによるフン害対策のため、「だまくらカラス」(以下、音声再生装置)でカラスを不安にさせる音を出し、追い払いを実施。冬場に集団で飛来するミヤマガラス対策として、商店会や町内会等と連携し、フン害の多い場所に音声再生装置を配置しカラスの追い払いを実施。

市の現状・課題 大学や町内会等との連携により様々な取り組みを検証・実施している。取り組みの中で一定の効果を検証できたものもあるが、根本的に被害を0にできるところまでは至っていない。

留意点・制約等

募集期間 随時

担当部署 所属名:環境部 環境衛生課 環境衛生係
(問い合わせ先) 電話:024-525-3742
mail:h-sougou@mail.city.fukushima.fukushima.jp